

平成 20 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ソフト 9 9 コーポレーション
代 表 者 名 代表取締役社長兼会長 田中 明三
(コード番号 4 4 6 4 東証第二部)
問 合 せ 先 専務取締役 土堤内 清嗣
(TEL. 0 6 - 6 9 4 2 - 8 7 6 1)

中期経営計画 Spiral Up “NEXT” について

当社は、平成 17 年 4 月より始まった中期経営計画 “Spiral Up ’05” を平成 20 年 3 月に終了し、平成 20 年 4 月より新しい中期経営計画 Spiral Up “NEXT” を策定し、スタートいたしました。

前中期経営計画 “Spiral Up ’05” は、事業環境が激変する中で当初策定した計画には届かず、課題を残しましたが、当初策定した目標は、当社が当面目指すべきステージであるとの認識に立ち、新しい中期経営計画 Spiral Up “NEXT” においても “Spiral Up ’05” における課題をふまえて、解決に向け策定いたしました。

中期経営計画の概要

1. 名 称 : Spiral Up “NEXT”
2. 期 間 : 平成 20 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日 (3 ヶ年)
3. グループ経営理念

「クルマと暮らしの輝きを創造する企業グループ」

クルマ 当社の創業以来の事業ドメインであり、今後も発展していく車社会を強く意識
暮らし 広く社会と共生していく事を視野に連結各社と共有しうる理念と位置付け
輝 き 当社の代表的な製品である「カーワックス」の輝きから社会に対し付加価値を生む製品・サービスの提供を図るという普遍的な企業価値を想定
創 造 当社が創業以来大切にしてきた価値観

4. 経営ビジョン

オンリーワン製品・高品質なサービス提供で社会に貢献する

「NEO SOFT 9 9 グループ」

～「おもろい」を大事にした製品・サービス・アイデアを提供し続ける企業グループでありたい。

5. 基本方針

1. 付加価値の創出を意識した、“新しいこと” へのチャレンジ
 - ・新しいエリア・新しいフィールド・新しい事業への積極的な取り組み
 - ・製造業の原点に回帰した、新製品開発力の向上
2. 内部統制の運用を通じた実効性と効率性を追求した経営システムの構築
3. 社会との共生をもって企業価値の向上を目指す

6. 行動指針

CHANGE (変化)	時代・環境の変化にいち早く対応
CHALLENGE (挑戦)	新しいことに果敢にチャレンジ
COLLABORATE (協働・協調)	社会との共生・グループ内でのシナジー追求
CREATE (創造)	新しいもの・新しいことを創造

7. 目標とする指標

- ①営業利益の成長を年率5%以上とする
- ②売上高営業利益率10%以上を確保する新ビジネス展開
- ③総資産経常利益率 (ROA) 7%以上を目指す
- ④自己資本配当率 (DOE) 1.5%以上を達成

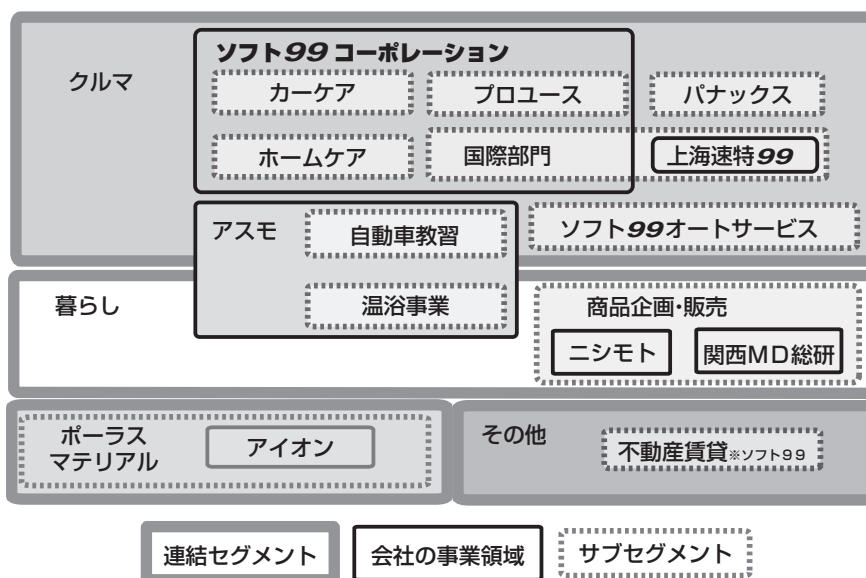
※DOE = ROE × 配当性向

8. 当社が目指すステージの姿

(金額単位：百万円)

	Spiral Up'05	Spiral Up “NEXT”		当社が目指すステージ	
	平成20年3月期	平成23年3月期	増減		差異
売上高	21,487	23,000	1,513	28,000	5,000
営業利益	1,477	2,000	523	2,500	500
経常利益	1,766	2,200	434	2,750	550
純利益	672	1,250	578	1,750	500
純資産	39,108	41,000	1,892	42,000	1,000
総資産	44,011	46,500	2,489	48,000	1,500
営業利益率	6.9%	8.7%	1.8	8.9%	0.2
ROA (経常利益/総資産)	4.0%	4.7%	0.7	5.7%	1.0
ROE (純利益/純資産)	1.7%	3.0%	1.3	4.2%	1.2
配当性向	55.4%	35.0%	▲20.4	35.0%	—
DOE (ROE×配当性向)	0.9%	1.1%	0.2	1.5%	0.4

9. ソフト99グループの事業イメージ



10. セグメント別業績推移

(単位：百万円)

				Spiral Up '05		Spiral Up "NEXT"		
				平成 20 年 3 月期 (実績)	平成 21 年 3 月期 (予想)	平成 22 年 3 月期 (計画)	平成 23 年 3 月期 (計画)	
クルマ	製品販売計	売上高	9,351	9,370	9,700	10,150		
		営業利益	483	460	520	600		
	サービス	売上高	3,013	3,080	3,140	3,200		
		営業利益	33	50	90	100		
	合計	売上高	12,364	12,450	12,840	13,350		
		営業利益	516	510	610	700		
暮らし	売上高	3,745	3,550	3,600	3,650			
	営業利益	▲6	50	80	110			
産業	売上高	5,198	5,300	5,500	5,800			
	営業利益	826	860	920	1,000			
その他 (不動産賃貸)	売上高	348	350	350	350			
	営業利益	138	180	185	190			
消去又は全社	売上高	▲170	▲150	▲150	▲150			
	営業利益	3	—	—	—			
連結合計	売上高	21,487	21,500	22,140	23,000			
	営業利益	1,477	1,600	1,795	2,000			

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

11. セグメント別事業戦略

クルマ

①製品販売

一般消費者向けのカー用品市場は、原油価格高騰によるガソリン価格上昇による乗り控えや、新車販売の不振とそれによる関連サービスに対するディーラーの囲い込み策などの影響で、今後も厳しい市場環境が続くと予想されます。そのような中で、独自性や競争優位性の高い製品を中心としたの開発に力点を置き、更に近年発売した製品の中で、当社の独自性が高く、好調なワイパー関連商品のラインナップ拡充と取扱い店舗拡大を目指します。

自動車美装業者向け業務用商品については、コーティング施工業者の更なる開拓を通じて自社ブランド“ビューティフルG‘ZOX”の販売を拡大し、そして機能性薄膜技術を更に深めて次世代のコーティング剤を開発し自動車メーカー向けOEMを拡大します。また自動車美装ケミカルで培ったノウハウをもとに、美装サービス向け製品を拡充して、第二、第三の収益の柱を構築してまいります。

家庭用品については、好調な「メガネのシャンプー」と「あっ！キレイ」シリーズを更に拡大するとともに、新しい収益の柱となる、機能性薄膜技術を応用した新製品の開発をすすめてまいります。

海外事業については、円高の影響で厳しい環境が続くなか、新興国の自動車マーケットの成長をチャンスと捉えるとともに、国内工場と中国工場の最適な生産体制の構築を目指し、事業拡大を目指してまいります。

②サービス

オートサービス事業は、好調な損保会社や代理店からの紹介誘導による钣金を更に拡大するため、近畿圏に新たな工場を設置し、収益拡大を目指すとともに、製品販売とのシナジーを追求して新製品やサービスメニューの開発を通じて収益拡大を目指してまいります。

自動車教習事業においては、少子化の影響で今後も普通免許は厳しい事業環境が続くと予想されます。そのような中、新大型免許や建設重機操作資格等の職業免許メニューの内容拡充と、あらたに二輪免許取得講座の開設による若年取得者へのアプローチに取り組むこと、そして法人向け安全運転講習や燃費節減運転講習などを展開し、収益拡大に取り組んでまいります。

暮らし

温浴事業においては、スーパー銭湯ブームが沈静化する中で、滞在型業態の3号店、4号店の収益構造の改善が喫緊の課題であると認識しており、提供するサービスや飲食メニューの再構築などに取り組んで収益構造の改善を目指して、地域での生き残りを指向いたします。また、この中期経営計画の期間で新業態の開発などを通じて、営業継続の可否判断をおこなってまいります。

生活用品企画販売事業は、近年生協の大型統合が進み、生協の仕入先集約の影響で今後も厳しい事業環境が続くと予想されます。このような中でグループ内の連携を強化し、生協ルートの維持・拡大を指向するとともに、他の印刷媒体やインターネットなどを活用した他の通販への展開をすすめてまいります。

産 業

前中期経営計画期間において、原材料の調達難から農業資材部門が撤退し、工場の稼働低下により利益を圧迫するといった状況でしたが、半導体業界向けの産業資材の製品品質向上をすすめ、また新素材の開発や新用途の開発をすすめて事業拡大を目指してまいります。

新規事業

中期経営計画の計数計画には反映しておりませんが、当社は資産の効率向上が課題であると認識しております。「当社が目指すステージ」への事業拡大のため、今後も既存事業とシナジーを見込むことができる分野やグループの事業を支える新しい柱としての新事業への投資やM&Aを通じた事業規模の拡大、収益力の向上を目指し、売上高 50 億円、営業利益 5 億円を目標として、取り組んでまいります。

以上

本資料記載の将来の業績見通しは、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した物であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。